家庭園芸　松の害虫

松の害虫でどこでも見られるのがコナカイガラムシです。松のミドリ（新梢）や新葉のつけ根に白い粉をかぶったような虫が固まってつき、木の汁を吸うので新葉が伸びず変形します。

この虫は小盆栽では歯ブラシでこすっても良いのですが、大きな木ではカルホスやアクテリックを噴霧して防除します。

ハダニは高温乾燥が続くと大発生し、葉の色が灰白色になり、ひどい時はポロポロ葉が落ちます。薬剤はケルセンかアカールを用いますが、たびたび葉水をかけてやるとかなり発生が抑えられます。

今ごろから目立つものにマツカレハ（毛虫）があります。大型の蛾が一ケ所に数百粒も固めて卵を産み、幼虫は集中的に葉を食べるので、遠くから見ると葉が枯れたように見えます。この虫は幼虫のままで冬を越し、翌年四月から再び葉を暴食します。四月から六月には人さし指大の毛虫となり薬剤にも強くなるので、秋のうちにスミチオンなどを噴霧しましょう。

（園芸センター）

市制100周年ミュージカル「アジブの扉」
公演まであと２週間

第1幕第2場「マラトヤ街門外」（城かく都市の外門の夜）の場面　どれいたちが引き立てられて行くのを見て、アジブは「金がなくては幸せはない」と言いつつ、街門の中へ……

市制一〇〇周年記念行事として市が制作する市民ミュージカル「アジブの扉」の公演があと二週間に迫ってきました。歌、踊り、芝居を演じる約九十人のキャストたちは最後の追い込みに入り、文字通り〝寝食を忘れて〟ミュージカルに取り組んでいます。

舞台の小道具を作る裏方たちも毎夜遅くまで作業を続け何とか間に合わせようと必死。オーケストラ、合唱団、ダンスや歌の指導スタッフたちもまさに一丸となって、今までにない大がかりな市民ミュージカルの成功を期しています。

市では一人でも多くの市民の方から見に来てもらうため、チケットの料金を格安に設定しました。早目にお買い求め下さい。

公演日時　①九月二十三日午後二時～四時半②二十三日午後六時半～九時③二十四日午後一時半～四時

会場　県民会館大ホール

チケット　全席自由、大人千円、中学生以下三百円（大和デパート、三越新潟店、新潟伊勢丹、ヤマハ新潟店、名店デパート、名曲堂、プラーカ1、キオスク（新幹線コンコース店・田中町店）の各プレイガイド、音楽文化会館で発売中）

問い合わせ　音楽文化会館（☎224―5811）へ

「アジブの扉」あらすじ

若者アジブは、金もうけを夢みて村を出ました。父や母、そして恋人を残して…。

城かく都市マラトヤに着いたアジブは、その街門の扉の前で決意するのでした。

「この町で成功して金をもうけ、楽な暮らしをしたい。俺はこの手で幸せをつかむ」―。

町の中で彼は悪い男たちにだまされ、荷物やお金を取られてしまいます。

悲しみにくれるアジブは、仙人ヨハネスに助けられ、その不思議な力で町一番の大金持ちになりました。

ぜいたくざんまいの日々とそれにむらがる取り巻きに金を使いはたし、ついに元の一文無しになりました。

するとまた、仙人が現われ彼は再び大金持ちに…。

ところが、アジブの金を狙う悪人たちの計略にかかり、すべてを取りあげられてしまいました。

人間の限りない欲望にイヤ気がさしたアジブは、もう金持ちはこりごり、今度は仙人になりたいとヨハネスに頼むのでした。

仙人になるためには、おそろしい魔の森で修業をしなければなりません。

いろいろな怪物や化け物がアジブを苦しめます。そして最後に究極の試練が彼を待っていました。

はたして、彼はそれを乗り越えることが出来るのでしょうか。そしてアジブの求める幸せは――。

〝時代は大きくまばたきする。今、にいがた物語（ストーリー）〟

市制一〇〇周年記念事業　17日から『市制一〇〇年展』

会場	コーナー	内容
新潟駅東側連絡通路	年表・写真	市の100年を年表と写真で振り返り、明治、大正、昭和の戦前・戦後をタイムトンネルを通って移行
	防災	新潟地震を主とした災害写真、災害年表、非常持出品パネルなどの展示
	※新潟市写真館組合による「懐かしの木造校舎」写真展も行われます。	
新潟駅西側連絡通路	未来	市内の小学生が描いた「未来の新潟」展。学校単位で描く大きな絵が60枚出品。
プラーカ1ギリシャ広場（地下1階）	文化人	新潟市出身、新潟ゆかりの文化人・著名人を通して新潟を知るコーナー。ヘッドホンで文化人・著名人のメッセージを聴くことができます。
	バックグラウンドビデオ	いつもとは違った新潟の表情をマルチビジョンで紹介
	※開催期間中の土・日曜に新潟市在住のアーチストによるコンサートを実施。	
プラーカ1遊とぴあホール（3階）	ビデオ	大正時代の映像、昭和30年代の報道ニュースなどのビデオ上映。
	街並み再現	堀を中心とした大正時代の街並みを再現
	近未来	新潟市にかかわるプロジェクトを紹介
	マンガ未来	漫画家・水島新司さんが描く未来の新潟を展示

※スタンプラリー方式で各会場を回って答えてもらうお楽しみクイズもあります。

※協賛事業「3カ国親善バザール」が9月20日～24日の間、プラーカ2～3の地下通路で開催されます。

市では市制一〇〇周年記念「市制一〇〇年展」を今月十七日から十月一日まで駅南プラーカ1の3階遊とぴあホールなど四会場で開催します。

これは、市勢と市民生活の一〇〇年を振り返りながらその歩みを体験し、明日のまちづくりに生かそうと行うもので、キャッチフレーズは「時代は大きくまばたきする。今、にいがた物語（ストーリー）」。

一〇〇年という節目が〝今〟であることをあなたも感じてみませんか。

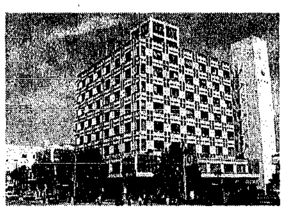
期間　九月十七日～十月一日

（プラーカ1会場は九月十九日休館のため催しを休みます）

時間　午前十時～午後八時

問い合わせ　広報課へ

「長い間、お役目ご苦労さん」
16日に現市庁舎の閉庁式



昭和三十三年二月に完成して三十一年間、柾谷小路、西堀通の一つの顔として市民のみなさんから親しまれてきた市役所現庁舎が、老朽化と狭さのため学校町通一へ新築移転、九月十六日の閉庁式で長い間の〝お勤め〟を終えます。

閉庁式には若杉市長や伊藤稔市議会議長ら関係者が出席して、十六日正午から約三十分間、現庁舎中庭で行われます。国旗と市旗の降納、市役所の看板を降ろした後、「定礎」を開けて昭和三十三年の建築時に納められた品々を取り出し、別に保存。最後に献酒をささげながら、新潟地震にも耐えた庁舎に別れを告げます。

移転後の庁舎は電気配線の取り外し工事が行われ、その後、市役所跡地開発の事業計画提案競技に選ばれた住友生命グループへ引き渡され、取り壊される予定になっています。

昭和三十四年の設置以来、毎日、朝七時と夜八時、十時の三回、屋上から十一基のスピーカーでメロディーを流し青少年健全育成を呼びかけてきたオルゴール「いつくしみの鐘」も現庁舎と運命を共にして廃止されますが、メロディーは録音、オルゴール本体も保存されて、いつくしみの鐘の意義が後世に伝えられます。

市ジュニアオーケストラ教室　第8回演奏会

日時　9月15日①午前11時②午後2時（2回公演）

会場　音楽文化会館ホール

演奏曲目　ドボルザーク・交響曲第9番ホ短調「新世界から」、オッフェンバック・歌劇「ホフマン物語」より舟歌、ほか

整理券　音楽文化会館（☎224―5811）でどうぞ

「能」公演

日時　9月17日午後1時～4時半

会場　県民会館大ホール

演目　能「俊寛」（今井泰男）、「三輪」（三川泉）、狂言「盆山」（善竹圭五郎）、ほか仕舞三番　※重要無形文化財保持者多数出演

前売券　6,000円で考古堂書店、萬松堂で発売中。当日券は6,500円。

※当日午前10時～午後4時、1階展示ホールで新潟に伝わる江戸時代の「能装束展」を開催（入場無料）

問い合わせ　田辺（☎266―7840）へ

新潟西ライオネスクラブ　チャリティーバザー

日時　9月26日午前11時～午後1時

会場　東北電力グリーンプラザ（上大川前通5）

問い合わせ　事務局（☎225―2131）へ

人形浄瑠璃「文楽」の公演

日時　10月9日、㊡午後2時、㊰午後6時開演

会場　県民会館大ホール

演目　㊡傾城反魂香、新版歌祭文、㊰二人三番叟、菅原伝授手習鑑

前売券　1等席3,000円、2等席2,000円で市内プレイガイドで発売中

有明センター作品展覧会

日時　9月15・16・17日午前10時～午後4時（ただし17日は午後3時まで）

会場　老人福祉施設有明センター（西有明町1）

内容　水墨画、和紙ちぎり絵、ヘラ彫金、七宝焼、陶芸、俳句、短歌、川柳などの展示　※一部展示即売あり

問い合わせ　会場（☎231―3082）へ

世界の民謡をたずねて

日時　9月28日～10月26日毎週木曜日午後7時～9時（5回）

会場　濁川公民館

内容　世界の民謡とミニコンサート

参加費　500円（教材費）

定員　先着30人

申し込み　電話で北地区公民館（☎259―7330）へ

16ミリ映写機操作講習会

日時　10月11日、11月15日、12月13日、1月17日、2月14日、3月14日午前9時半～午後4時半（いずれか1日）

会場　市視聴覚センター（西大畑町）

テキスト代（希望者のみ）400円

申し込み　講習日1カ月前から電話で会場（☎222―7400）へ

手編みベスト製作講習会

日時　（金曜コース）9月22・29日、10月6・13日午前10時～正午　（日曜コース）9月17・24日、10月1・8日午後1時半～3時半

会場　市高等職業訓練校（藤見町1）

定員　各コース20人

受講料　3,000円（ほかに毛糸代2,700円）

申し込み　電話で会場（☎271―2535）へ

※月曜日は休館。

ヨーガ健康体操教室

日時　9月25日～10月16日毎週月曜日午後3時半～5時（4回）

会場　両川連絡所

対象　両川地区在住の婦人先着20人

申し込み　電話で曽野木地区公民館（☎280―6810）へ